



## ガリレオ望遠鏡精密レプリカ

資料登録番号  
2009-01



図. ガリレオ望遠鏡精密レプリカ 14倍(右)、美装(左)  
14倍望遠鏡は対物レンズ入り、美装は対物レンズなし。

400年前、ガリレオ・ガリレイ(1564-1642年)が初めて望遠鏡で宇宙を観測したことを記念した世界天文年(2009年)に(株)京都科学が制作したガリレオ望遠鏡の精密なレプリカです。

本物はイタリア・フィレンツェの科学史博物館が所蔵するもので、外観も忠実に再現され、14倍望遠鏡の方は対物レンズも組み込まれています(レンズは秋山晋一氏制作)。14倍望遠鏡の対物レンズの焦点距離は130cm、接眼レンズは凹レンズの“ガリレオ式”で、視野はたったの8分角。月の4分の1の広さしか見えない望遠鏡で月全体やプレアデス星団(すばる)のスケッチをしたのですから、ガリレオの忍耐努力には頭が下がります。

14倍望遠鏡の精密レプリカは「蔵出しコレクション」として5月29日までアトリウムのケースで展示しています(美装望遠鏡の精密レプリカは、展示場4階の「天体望遠鏡」横のケースにて展示中)。普段はおもてに出していないものなので、この機会にご覧ください。

石坂 千春(科学館学芸員)